# 10 連結管（別売品）の取り付け

電気温水器と止水栓の接続はフレキ管を使用する（鋼管などで接続するとシール剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。）

●建築躯体側配管の配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けないでください。

（接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯が臭うことがあります。必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。）

**混合栓（別売品）および止水栓（別売品）に連結管を接続してください。**

**※混合栓の取付方法は、混合栓に同梱の「施工説明書」を参照してください。**

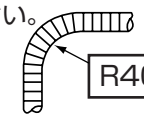
●給水配管中のゴミを排出するため、給水口に給水配管を接続する前に、必ず止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨ててください。

（配管中の小さなゴミが機器本体内に入ると減圧弁・逃し弁に付着し、故障の原因になります。）

●混合栓水側への給水配管は、必ず電気温水器の出水口より接続してください。（減圧弁の故障の原因になります。）

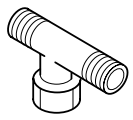
**下図の要領で連結管（別売品）を電気温水器本体に接続してください。**

●連結管は、極端に折らないでください。

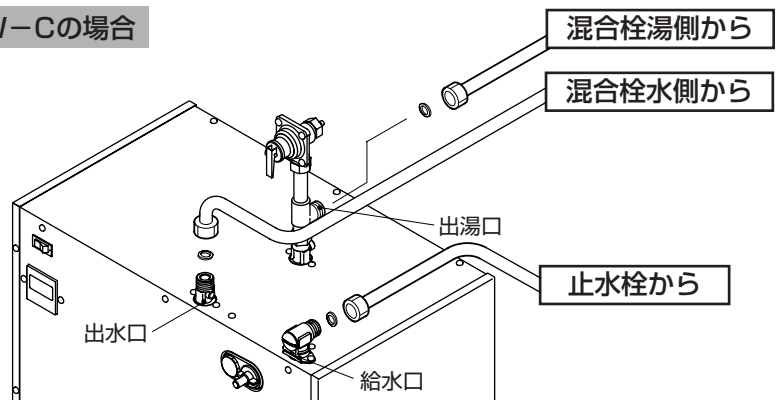



**《2連設置する場合 10,20Lのみ》**

2連設置する場合は、**分岐金具**（別売品：RHE83）を取り付けてください。



REW－Cの場合

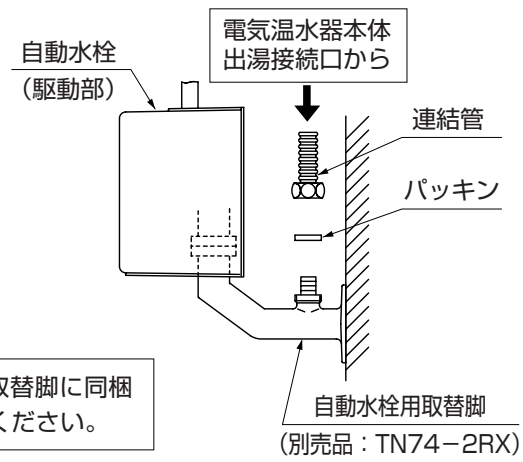





REW－Gの場合　＜自動水栓（単水栓）を接続する場合＞

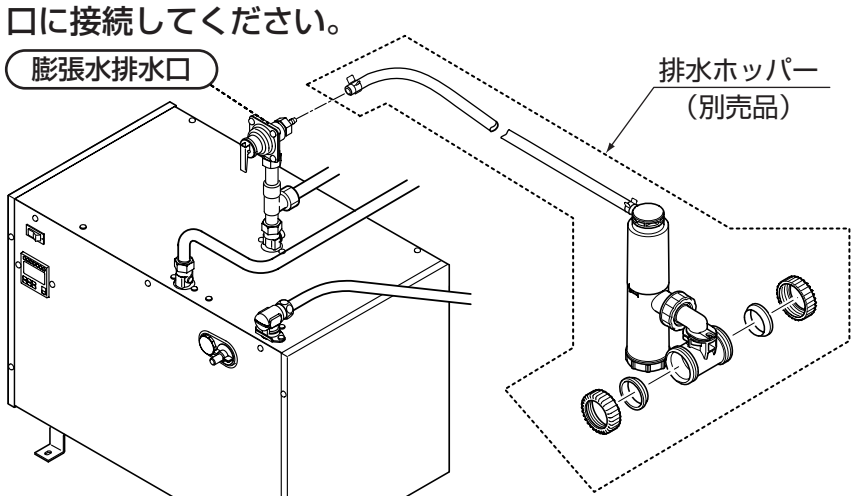
自動水栓（単水栓）と電気温水器を接続する場合は自動水栓用取替脚（別売品：TN74－2RX）をご使用ください。
また出水口を接続口キャップ（別売品：TH651）で塞いでください。

※自動水栓用取替脚の取付方法は取替脚に同梱の「施工・取扱説明書」をご覧ください。




# 11 排水ホッパー（別売品）の取り付け

**下図の要領で排水ホッパー（別売品）を電気温水器本体の膨張水排水口に接続してください。**

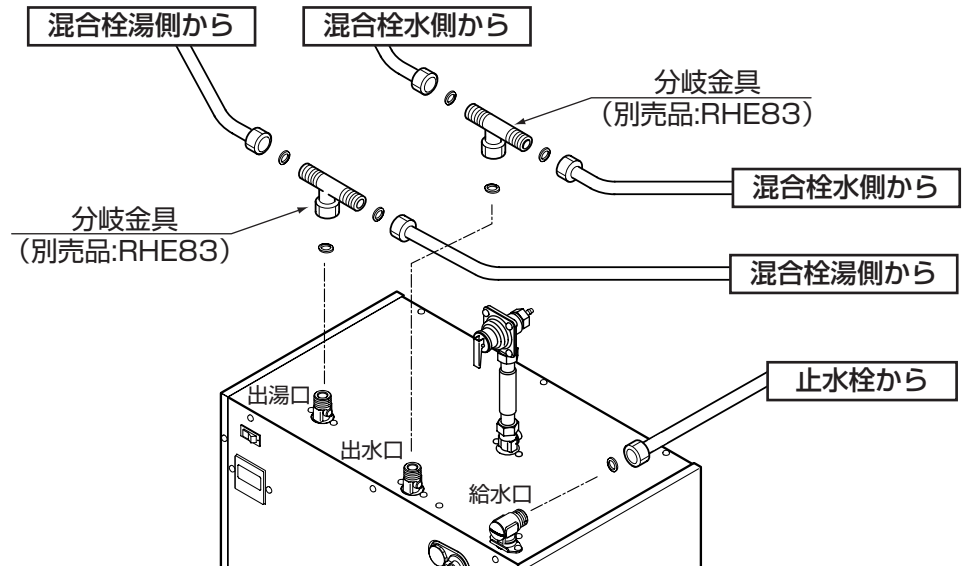



**※排水ホッパーは必ず、電気温水器1台につき、1個取り付けてください。**

※排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の「施工説明書」にしたがって取り付けてください。



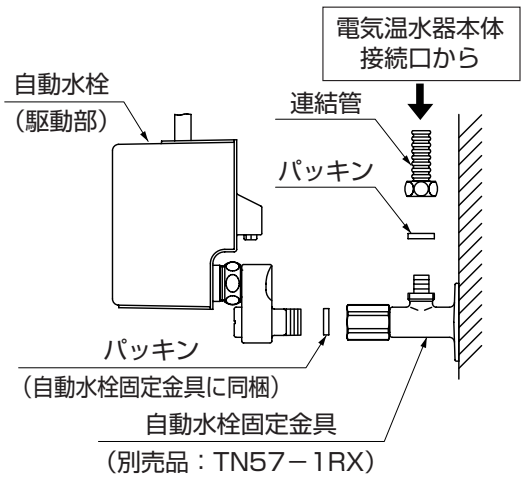
REW－Gの場合　※2連設置の場合




**≪自動水栓との接続≫**

REW－Cの場合　＜自動水栓（サーモスタット）を接続する場合＞

自動水栓（サーモスタット）と電気温水器を接続する場合は自動水栓固定金具（別売品：TN57－1RXをご使用ください。






# 12 電気工事

電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
また、漏電遮断器を取り付ける
（誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。）

消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う
（火災の原因になります。）

**1）電源が規定の電圧であることを確認してください。**

**2）接地付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保してください。**

| | 品番※ | 電圧 | 消費電力 | 対応コンセント |
|---|---|---|---|---|
| REW05型 | REW05A1＊＊ | 単相100V | 1.1kW | WK3001W（露出型）:松下電工<br>WF3002EK（埋込み型）:松下電工 |
| | REW05A2＊＊ | 単相200V | | WK3012（露出型）:松下電工<br>WF3012EK（埋込み型）:松下電工 |
| REW10型 | REW10A1＊＊ | 単相100V | | WK3001W（露出型）:松下電工<br>WF3002EK（埋込み型）:松下電工 |
| | REW10B2＊＊ | 単相200V | 1.5kW | WK3012（露出型）:松下電工<br>WF3012EK（埋込み型）:松下電工 |
| REW20型 | REW20A1＊＊ | 単相100V | 1.1kW | WK3001W（露出型）:松下電工<br>WF3002EK（埋込み型）:松下電工 |
| | REW20C2＊＊ | 単相200V | 2.0kW | WK3012（露出型）:松下電工<br>WF3012EK（埋込み型）:松下電工 |

※品番は、電気温水器本体側面の銘板で確認してください。

# 13 試 運 転

タンクが空のときは絶対に電源プラグをコンセントに差し込まない
（空焚きとなり故障･やけどの原因になります。）

●機器の減圧弁･逃し弁にゴミが付着すると、
**膨張水排水口から微量の水が流れ続ける場合** があります。
そのような場合は以下の操作を行ってください。

1）逃し弁のレバーを立てて、膨張水排水口から1分間ほど水を排出させ続けてください。
2）逃し弁のレバーを元に戻して、蛇口を閉めたときに、膨張水排水口から水が流れ続けないことを確認してください。

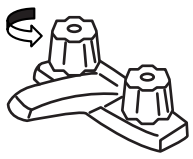
（注）流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

## 1）電気温水器への給水

**《シングルレバー混合栓および2バルブ混合栓の場合》**

①止水栓を開ける。
②混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
（REW－Cシリーズの場合）
③混合栓から安定して水が出はじめるとタンクは満水です。
（REW－Gシリーズの場合）
③タンクが満水になるまでは、空気を巻き込みながら断続的に水が出ますが、満水になると水の出方が安定します。
④混合栓を閉める。
⑤配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

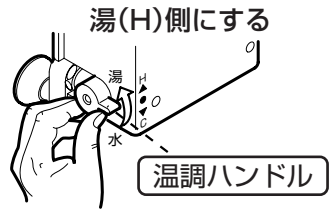
湯側を全開にする

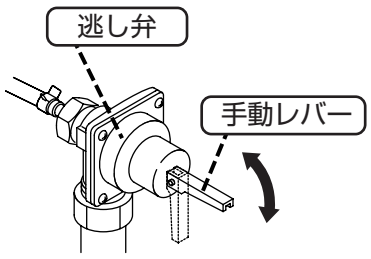




**《自動水栓（サーモスタット）の場合》**

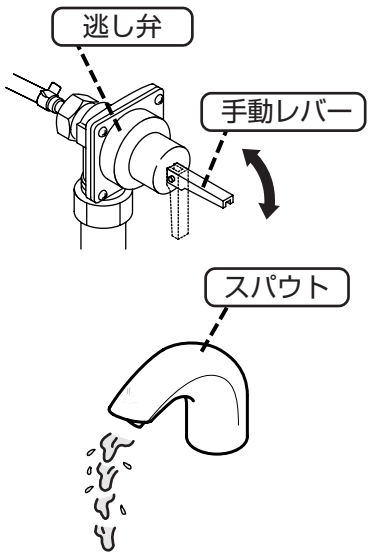
（REW－Cシリーズの場合）
①止水栓を開ける。
②自動水栓(駆動部)の温調ハンドルを湯側全開にする。
③逃し弁の手動レバーを引き上げる。
④排水ホッパーから水が出はじめたら逃し弁の手動レバーを元に戻す。
⑤自動水栓のスパウトのセンサーを作動させ水が出はじめたら、タンクは満水です。
⑥配管接続部からの水漏れがないことを確認する。
⑦自動水栓（駆動部）の温調ハンドルを戻す。




**《自動水栓（単水栓）の場合》**

（REW－Gシリーズの場合）
①止水栓を開ける。
②逃し弁の手動レバーを引き上げる。
③排水ホッパーから水が出はじめたら逃し弁の手動レバーを元に戻す。
④自動水栓のスパウトのセンサーを作動させ水の出方が安定してくると、タンクは満水です。
（タンクが満水になるまでは空気を巻き込みながら断続的に水が出ます。）
⑤配管接続部からの水漏れがないことを確認する。






## 2）電気温水器への通電 空焚き禁止

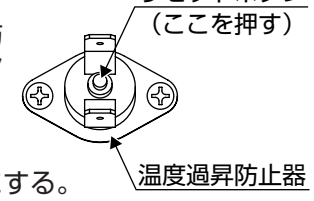
①タンクが満水になったことを確認し、電源プラグを差し込む。
②タイマーを取扱説明書にしたがって設定し、タイマーの運転時間内であることを確認する。
③タイマーの温度設定スイッチで、沸き上げ温度を設定する。
**（REW－Cシリーズのみ）**
④電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。
⑤電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
（ランプは、消灯します）

### 空焚きリセット方法

※タイマー表示部が右図のようになっている場合は空焚きした可能性があります。

※万一空焚きをした場合は、以下の処置を行ってください。

①電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜く。
②タンクに水を入れて、タンク内の温度を下げる。
③前面パネルを取り外し、タンク側面の温度過昇防止器のリセットボタンを押す。（リセットボタンが作動している場合のみ）
④前面パネルを取り付ける。
⑤電源プラグを差し込み、電源スイッチを「入」にする。




給水口、止水栓のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。
試運転後、フィルターの掃除を行ってください。
（掃除の方法は、取扱説明書を参照してください）

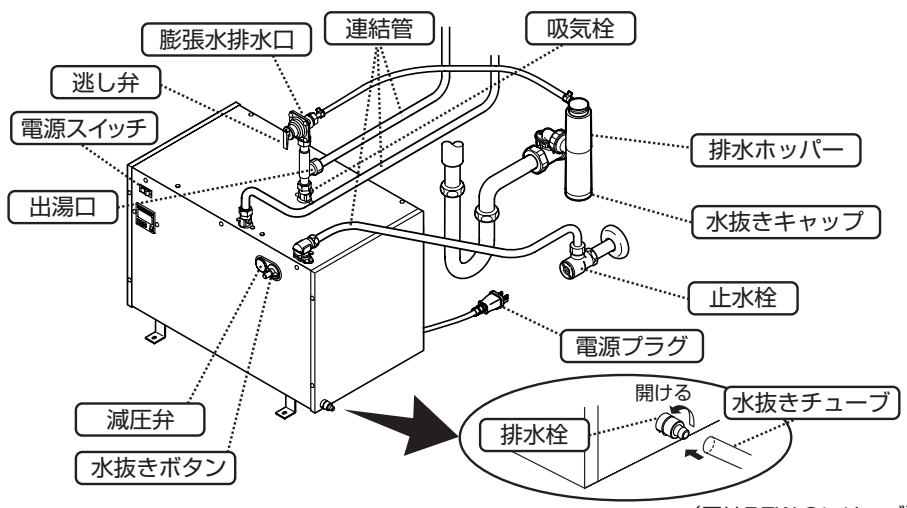
減圧弁、逃し弁は消耗品です。
劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。
必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。



# 14 機器内の水抜き

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
（凍結により破損し、水漏れするおそれがあります。）

〔水抜き手順〕
①電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
②混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切る。
注 タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
③逃し弁の手動レバーを引き上げる。
排水ホッパーへ水を流して20秒以上経過したら、逃し弁の手動レバーを元に戻す。
④止水栓を閉める。
⑤逃し弁の手動レバーを引き上げる。
⑥同梱の排水ホースを機器本体の排水栓に接続し、排水栓を開ける。
注)水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。
⑦膨張水排水口部の吸気栓を開ける。
⑧減圧弁の水抜きボタンを押して、水を抜く。
注)水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。
⑨排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。
⑩水抜きが完了したら逃し弁の手動レバーを元に戻し、機器本体の排水栓および吸気栓、排水ホッパーの水抜きキャップを閉めてください。




（図はREW-Cシリーズ）

## 配管の凍結予防

●電源（運転）スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。